

ぱーとなー

2007年1月
第62号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています
 安全・安心・信頼の医療
 私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
 無差別平等の医療
 私たちは人権を尊重した医療をすすめます
 患者負担の少ない医療
 私たちは室料差額はいただきません
 地域とともに歩む専門職の育成
 人権感覚をもつ専門職を養成します

大腸肛門疾患への取り組み！

1. 大腸手術

当院では年間60件から70件の大腸癌手術を施行しております。拡大郭清を伴う手術から最近では、豊富な症例数を研修してきた医師が中心となり腹腔鏡手術も安全に施行しております。早期癌から筋層レベルの癌に対しましては、まず腹腔鏡下手術をファーストチョイスにしています。また、適応を選んで虫垂炎でも腹腔鏡手術を行っておりますが手術時間30分台でも可能であり術後の疼痛もほとんどなく術後回復がきわめて早いのが特色です。一方、マイルズの手術など人工肛門を余儀なくされる患者様も依然として多いのですが当院には人工肛門の患者会活動（オストメイトの会）が12年前から存在し活動も活発で、術前、術後とも患者会の方々が患者さまを精神的にサポートして下さります。以前は、「人工肛門になるくらいなら死んだほうがましだ。」と落ち込まれる方々も多かったのですが、患者会も方々の術前の説明で今では術前から前向きに手術にのぞまれる方ばかりです。患者会活動は年々活発になっており、会員同士で毎年温泉旅行へ出かけるほどです。

炎症性大腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）の外科手術は内科的治療の進歩で最近減少してきましたが患者様は増加傾向にあります。以前は、大腸全摘術：回腸囊肛門吻合術もよく施行していましたが、最近では薬物療法、顆粒球吸着療法などの治療で手術に至る患者さまは激減しています。

2. 大腸癌化学療法

不幸にして癌を切除できなかった方、または手術はうまくいったが病理結果より癌の再発の可能性が高い、と考えられる患者さまには、我が国の大腸癌化学療法ガイドラインに従った全ての治療を各患者さまと相談した上で提供できるシステムを作っております。専門の化学療法室を設置し、FOLFOX, FOLFIRI と行った最先端の化学療法も施行しております。

3. 大腸内視鏡検査

当院では年間約1,500件の大腸内視鏡検査を施行しております。何よりも苦痛のない安全な内視鏡検査を第一の目標にかかげ、多数のポリペクトミー、早期癌の内視鏡的切除術を施行しております。幸い最近6年間はポリペクトミー、挿入に伴う穿孔例はありません。大腸癌検診で陽性になりました患者さまの精検につきましては、是非当院地域医療室にご一報ください。速やかに大腸内視鏡検査を施行いたします。内視鏡手術も日帰りで施行しております。病理結果も1週間で皆様の院所へお返しし皆様の院所で結果説明をしていただくようにしております。もちろん、手術が必要と判断される患者さまは当院にてフォローさせていただきます。

4. 肛門手術

外来で一番多い外科疾患は肛門疾患でしょう。当院ではあらゆる肛門手術を外来、日帰り、長くても2,3日の入院で済むように心がけております。昔は、一流の肛門科の先生の手術でも、痔核の手術は1週間以上の入院、痔瘻ともなると1ヶ月の入院で著しい肛門の変形は当たり前、と言った時代もありました。現在、当院では度、度と言った軽症の痔核に対しましては全例、外来で輪ゴム結紮術の適応にしています。それではほとんどの患者さまは治癒します。（下図）度の一部、度と言った重症の痔核に対しましては入院して手術を行なっていますが入院はせいぜい3日以内です。痔瘻の手術も括約筋温存手術、あるいはシートン法を施行しておりますが、入院期間は2,3日でシートン法は日帰り手術で可能と考えております。裂肛につきましてもSSG（Sliding Skin Graft）や括約筋切開術を同様に短期入院で施行しております。苦痛の少ない短期入院治療、あるいは外来手術を今後も追求してゆく所存です。肛門疾患でお悩みの患者さまはお気軽にご相談ください。 *文責 総合病院 外科 平林邦明*

あけましておめでとう
 今年も宜しく
 お願いいたします。
 耳原総合病院
 院長 松本 久



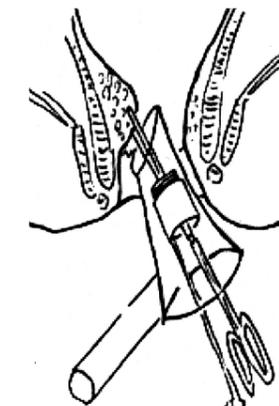
痔核輪ゴム結紮術前



一回目施行後



2回目で治癒



術式

耳原総合病院地域医療室
 電話 072-241-0324
 Fax 072-241-0208
 Fax 072-241-0670
 受付時間 月・水・金 午前9:00～午後7:00
 火・木 午前9:00～午後5:00
 土 午前9:00～午後1:00

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。